

龍谷富山高等学校

「3つの方針」(スクールポリシー)

龍谷富山高等学校は、親鸞聖人のみおしえ仏教を教育の根本とした浄土真宗本願寺派の宗門校です。

県内で最も歴史と伝統のある私立高等学校として、多くの卒業生を輩出しています。内省、感謝、相互扶助を柱とする「学園の心」を礎とし、感謝と思いやりがあり鋭い感覚と広い視野で未来を切り開く力をもった人材を育成する学校です。

1 生徒育成方針

- ・基礎科目に重点を置き、生徒一人一人のニーズに応え、より専門的な知識や技能をもった生徒を育てます。
- ・「明るい挨拶」ができ、「感謝の心」と「思いやり」をもった生徒を育てます。
- ・部活動を推進し、身体づくりはもとより、自治・自律の精神や協働の精神をもった生徒を育てます。

2 教育課程編成・実施方針

- ・一人一人の志望、適性、能力に応じた進路実現を支援するため、コース別に授業を行います。
- ・特別進学コースにおいて、習熟度別少人数授業やティームティーチングを行い、きめ細かな個別指導を行います。
- ・進学・スポーツコースにおいて、地元のプロスポーツチームのスタッフを招聘し、実技、障害予防、栄養学等に関する特別授業を実施します。
- ・総合コースにおいて、中学校までの内容を学び直しながら、自ら学ぶ姿勢と学習習慣の定着を図り基礎学力の向上を目指します。2年次からは4コース(キャリアデザイン、福祉、ビジネス情報、生活文化)に分かれ、専門科目を通して知識と技能を身につけさせます。

3 生徒募集方針

以下のような生徒を募集します。

- ・学習習慣が身につけており、学業成績に優れ、高い進路目標を持って継続的に努力する強い意志をもっている生徒。
- ・基本的な生活習慣が身につけており、中学時代に活躍した部活動での経験を生かし、意欲的に学校を牽引していかうとする強い意志をもっている生徒。
- ・中学時代の生徒会活動やボランティア活動での経験を生かし、意欲的に学校を牽引していかうとする強い意志をもっている生徒。